

児童部会

(金森部会長)

それでは児童部会を始めさせていただきます。

先程説明があったアンケート調査結果について、質問やご意見等がありますか。例えば、「放課後児童クラブで朝の利用時間を延長する」との声が多くありますが、それは土曜日をのことを指しているのですか。

(事務局)

今現在、ほとんどの児童クラブが土曜日の朝 8 時から開園しています。それをもう少し早くしてほしいとの意見です。

(金森部会長)

何時ごろが良いのでしょうか。どの程度早くするかはわからないが、早くすることを要望されています。

(事務局)

学童に関しては、みなさんの意見を聞いて決めています。こうゆう意見が出るのは、事務局でも驚いています。

(委員)

朝 8 時から開園というのは、土曜日、春休み、夏休み等についてということですね。

(委員)

8 時より早くしてほしいというのは、どういうことなのでしょう。

(委員)

館野クラブでは 8 時に開園しています。職員は 7 時 45 分には登園しています。職員より早く来ている子どもたちがおり、7 時 30 分や 7 時 40 分にすでに来ている子供がいます。職員は、7 時 45 分から門を開けるが、30 分ぐらい門の前で待っている子供もいます。

(事務局)

今現在、野々市市内での児童生徒数が 3,000 人ぐらいいます。そのうち、学童保育に入所している子供が 550 人ぐらいいます。全体の約 6 分の 1 ぐらいの子供が通っています。そのうち、1 年生から 3 年生の低学年の割合が多い状況です。ただ、最近は 4 年から 6 年の高学年も増えてきています。

(金森部会長)

高学年の3年分を分母にすると少なくなります、低学年を分母にすると、通っている子どもの割合がもっと多くなります。

(委員)

ひところは、高学年になると、学童に来ないようにと言われていたように感じますが、指導と言いますか、多くなりすぎないように定員数の見直し等、苦勞されたのではないのでしょうか。

(事務局)

曖昧な言い方ですが、現在の児童福祉法では、概ね10歳未満の子供を対象としています。今度の法改正に伴って、その条件が撤廃されるようになります。現在でも高学年の方の利用はあります。少し障害を持った子供や一人で自宅で留守番をできない子供などは、入っていただいています。ただ、今のところ概ね10歳未満の子供を対象としています。その条件が撤廃されるようになれば、学童に入る子供もいると思われます。

今は希望があれば、大きい子供も入れるようにしていますが、一時期、富陽小学校でものすごく子供が増えたケースがありました。その時は、どうしても入れる人数の許容を超えていたので、小学校3年生までとしていた経緯があります。ただ、今は富陽小学校では、3つの学童クラブがあります。

(金森部会長)

詳しい説明で、例まで出していただきました。放課後クラブ、学童の問題と児童館の問題の2つに集約されると思われます。アンケート調査結果を見られた上で、そのことに主に関わっている人たちから、現状と問題点を感じ取れたということがあれば、意見等を出していただけますでしょうか。

(委員)

館野小学校区のたちのクラブ指導員をしています。

親の就労時間に合わせての開所については、保護者会で話あっています。平日の開所時間についても、私どもは、午後8時まで開所しており、親の就労時間等にかなり合わせている状況です。

6年生の利用についても、障害ということもありますが、高学年ならではの活動を通して、魅力のある活動を行っています。留守番という面ではなく、発達の面での活動を重視して、集団とのつながり等を学習している場であると思われます。

6年生の子が1年生の子を見たりしており、6年生が来たいといえれば、拒まず、安心

というより発達という面でも親の期待があるように思われます。

指導員側は、親の期待にも添えるよう、研修等行って、資格の取得にも踏み込んで向上していければと思います。指導員は、地域によって指導のばらつきがあるように思われます。どこの地域に行っても、同じような質の高い指導ができれば良いと感じます。

定員数の問題や施設の問題等ありますが、どの地域でも質の高い指導が出来るようにしたいと思います。アンケート調査結果には直接書いてないかも知れませんが、保護者の希望は、施設と共に中身の指導の質を高めることを要望されています。そのために指導員の研修が必須と考えます。指導員や学童保育の役割をより深く理解し、地域性もあるが、野々市全体の質向上を望みます。

開所時間8時からですが、もっと早くして欲しいとの要望が保護者からでています。今は保育園に合わせている状況です。安心と安全は分けて考え、本当に全員が安心できる環境が必要です。条例で作れるかどうかかわからないですが、大枠は条例で作成していただき、あとは対処していければと思います。

(事務局)

野々市市の学童保育の開所時間は統一されていません。たちのクラブは20時ですが、ほかは19時です。他の施設にもニーズに合わせて行ってくださいとの指導をしています。要望がなければ、20時まで開くことはないと思います。また、個人的には20時まで預けるのは子供に影響があるのではないかと考えてしまいます。そのことも含め、今後の条例作成のたたき台として、皆様にご提示できればと思います。

(金森部会長)

皆様には資料をお配りしておりませんが、私の手元の資料を読みますと、朝の利用時間延長希望で圧倒的に多いのは、御園小学校区で27.3%です。ちなみに菅原小学校区では5.7%です。地域により大きな差が出ています。また、夕方の利用時間延長希望は、館野小学校区では2.5%です。御園小学校区では30%です。御園小学校区は今何時に閉所していますか。

(事務局)

御園は19時に閉所しています。第1きのこクラブ、第2きのこクラブ、カメラクラブ、の3つのクラブあります。その3箇所は、法人が運営しています。

(金森部会長)

引き続き私の手元の資料を読みますと、施設や設備の改善要望では、館野小学校区は47%です。御園小学校区は3%です。施設面では非常に少なくなってます。それぞれの地域で、ニーズが異なり、多様になっています。一律議論ではなく、詳細をみていくことが重要と思います。

(委員)

たちのクラブは、20時まで開所している、そのうえさらに延長というのは少ないが、他が19時でも要望が少ないのは、たちのクラブが1時間ずらしたことでニーズに対応したと私は考えます。

(委員)

小さい子は寝ている子もいます。小さい子は辛そうで朝にも影響があるようで、母親に状況を確認したが、母親の就労時間のため仕方がないとのことでした。また、夕ご飯に差し支えるのは判っているが、おやつをあげたりもしました。

(事務局)

量的な問題と質の問題と両方の問題があります。条例等になると大枠になるので、細部については、それぞれが親との話し合いでの調整になると思います。

(委員)

年齢制限がはずれると、利用者のニーズが多様化し、どこか会社が入ってきて、同じようにやっても、それぞれの地域の特色がでてくるのではないのでしょうか。保護者で行っていた年2回の定例会や保護者会はどのように行っていますか。

(委員)

保護者会は毎月行っています。

(委員)

いままで5つの校下で行っていたが、委員会に変わりました。その影響はありませんか。

(委員)

委員会が変わられた方は脱退されてしまいました。全体で話し合う機会はなくなりました。以前は、毎月集まっていろいろな協議をしていたが、今は困難です。

(金森部会長)

低学年は安心安全が強調されています。高学年はむしろ発達面をあてにされているようです。6年生としては小さい子にかかわること、いわゆる子供集団でもまれながら人間性をはぐくんでいくことを望まれているようです。そのことについて、いろいろ議論されるのが望ましいと思います。

(事務局)

市から、学童保育の交流会の実施を予定しておりましたが、ある法人の代表指導員の方が病気のため、2月の予定が延びました。子育てあんしん課としては、連絡を取り合っているが、法人の運営方針等のため、調整がまとまっていない状況です。

法人運営のところ保護者会運営のところがあり、子供の取り合いが現在でできています。法人運営は、保護者の役割がほとんどありません。一方、保護者会運営は、役割があり、会計業務を行う場合もあり、煩わしいと考える保護者もいます。法人経営に行く傾向が増えてきています。そのようなことも含めて、内規等で運営方針を示せていければと思っています。

(金森部会長)

私は長く、学童の保護者会で関わってきていますが、お金をだけを出せば、保護者の役割がほとんどない法人運営はあまり快く思わないです。法人運営のような方法が進んでいくと、2分化をますます進行させると思われます。親が汗をかいて、横のつながりを大事にしてこそ地域であり、それを分断されるのは良くない。法人・保護者両方を繋いで2分化しないように行政の努力をお願いします。

PTAのほうからそのことについて意見はありますか。

(委員)

クラブの運営委員からもそのような話はきいています。親が繋がっていかなくてはならないが、もともとそのような文化がないというか、そのような方針はないようです。

(委員)

学校とのつながりも薄く、親同士もつながりが薄くなっています。今は個人情報保護条例等があって、個人名簿もあつたが、今は個人名簿等がないため、子供と他の保護者とのつながりもなくなってきました。子供同士のつながりも薄くなってきました。

先ほどの朝の件、小学校に平日子供たちが7時30分には何人か必ずきています。学校からは7時40分以降に開ける連絡をしているが、前いた小学校では7時20分ごろに来る子供がいました。先生は10人ぐらいはその時間に登校してきているので対応しているが、何かあった場合もありえます。子供に鍵をかけさせることの保護者の不安もわかります。また、小学校の地域性もあります。母子家庭・父子家庭が多く、団地もあり比較的若い世代が多く暮らしている地域もあります。

(委員)

新しい区画整理があり、転居が多く人が増えています。そのためニーズも増え、多様化してきています。いろいろな考え方も増えれば統一的な考えの対応がむずかしい状況です。

(委員)

野々市でも地域で違いがあります。

(委員)

本町の地区とは違います。旧野々市地区と御園地区では違います。

御園小学校で依然調べたところでは、増えているところの5年生の割合が、全体の3割は元々野々市に住んでいた方、4割が県内他市町から転居した方、3割が他都道府県から転居した方でした。そのため、つながりが薄くなっています。

(金森部会長)

時間が来ましたので、このあと児童館にいきます。児童館はどちらかというとフリーで利用する立場ですので、保護者の繋がりには困難です。放課後児童クラブでなんとか保護者同士がつながっていくように、かつての地域の良さを発揮できるように、これからも駆使できれば幸いです。

児童館に関してご意見をお願いします。

(委員)

市立3児童館がありますが、民間が入り各校区にも児童館が出来てきました。ただ、先ほどからでてきている地域差は児童館でもあります。

市立の児童館はフリー来館を対称にしています。学童クラブと児童館と併設してるところは違います。アンケート調査の結果では、児童館を利用したことがあるが半数超えています。児童館の利用者の対象について、午前と午後では変わります。午前は、未就園児の親子が多く来館します。午後は幼稚園に所属している親子が多く、3時半以降は小学生が多く来館します。2パターンの利用があり、職員もそのバラエティに対応しています。

児童館の活動を知らせていくことを行っています。その手段として、児童館便りを各学校に配布しています。ホームページ、広報で市民に知っていただくこともしています。

児童館便りは、それぞれの学区に配布していますが、年々残る枚数が多くなっています。

児童館便りを市役所・児童館の窓口においていますが、そちらは年々減りが多くなっています。児童館の活動をお知らせしていくことには、まだまだ、検討の余地あると考えています。各地区の回覧板に入れることも考えています。

アンケート調査にあります時間帯が合わないという問題についてですが、今は、夏時間と冬時間で運営しています。夏時間は10時から6時、11月から2月の冬時間は10時から17時30分で運営しています。民間は通年で9時から6時です。

学校での安全安心の指導により、冬では5時には自宅に帰るように子供たちはしています。そのことにより、児童館では5時に帰るよう指導しています。

子供たちは、水曜日以外は児童館にいる時間が短いのが現状です。5時を過ぎ、児童館の施設から出ても、子供たちは施設の外でサッカー等で遊んでいることを見かけます。子供たちの遊びたい、友達と繋がっていたいという気持ちも判るので、その時は、子供たちの様子をみながら帰るよう指導しています。そのようなことが、アンケート結果にある時間が合わないとのことと思います。子供たちは少しでも友達と繋がりたいところがあり、そのなかで時間のやりくりをどうやっていくかは非常に困難な問題です。

水曜日は十分時間がとれるので、2時30分ごろから低学年が来館します。学童に在籍する子供たちも多く、早いといっても2年生で学童に在籍していない子か3年生以上のフリー来館が多いのが現状です。

児童館利用は0歳からと幅広い、時々は中学生・高校生もくるように見受けられます。

幅広い中で統一した指導ではなく、学年にあわせた声かけを行っていますが、それぞれの対応策が困難です。

民間と市立では、学童クラブと児童館とが併設しているかしていないかで少しちがうが、今年から年3回ぐらい情報共有を始めました。すべての人に満足いく活動は、いまの児童館の活動や時間帯配分当等では行えない状況ですが、このアンケート調査結果をみて問題点が浮き彫りになったとして見させてもらいました。

(金森部会長)

アンケート結果では、半分近くは児童館を利用しています。例えば、金沢市に比べればはるかに利用率は高いです。

(委員)

児童館は、フリーで来館する子供居場所が確立していると思われます。

学童と併設すると、それはそれで良い面、広さ等良い面もあります。が、放課後どこにも属さない子供が自由に来れるところ、また、各地区にあることが利用率に繋がっているように思う。

(金森部会長)

今、計画されている図書館等ができれば、また新たな場所ができます。良いことと思う。

私の手元の資料を読みますと、活動に関する情報が少ないですが、菅原は37%、館野は18%です。半分も違います。それぞれの宣伝、学校との協力体制、などいろいろな状況、で明らかに違います。トータル数では判らないところは、地区毎等詳細をみていきます。

(委員)

昨年まで押野児童館にいましたが、異動して地域性を感じています。

館野は、児童館を含め小学校・保育園・学童・公民館が館野校区で1つずつあります。

それぞれ、つながりが高いです。押野児童館を利用する児童は、館野小学校の児童に限られています。御園小学校から単独で館野児童館を利用する児童はほとんどいません。館野児童館は子供たちがまとまって利用します。また、学校にもアプローチがしやすい状況です。

中央児童館は、菅原、野々市、富陽の3つが関わって、また、時々御園の児童の利用があります。そのほかに金沢市の小学生がきたりもします。そのため、PRが難しいです。焦点をどこに絞って、学校と協力体制をとっていくか課題だと思います。

押野のときは、1館1校ということもあり、館野小学校へ訪問して情報をいただいていた。中央は1館1校ではなく情報収集が困難です。アンケート結果で、菅原で37%と、少ないと出たのであれば、利用率が一番多いのが菅原小学校なので、学校と協力体制をとって進めて行こうと思います。

(金森部会長)

アンケートは詳細に検討していけば、さまざまに有効に使えるような部分が出ていると思います。実態をわかっている関係者の方が、改めて、見つめていただければ幸いだと思います。

大きな方向性としては、放課後児童クラブを軸に考えた場合、子供の居場所と子育てをしていく親たち保護者たちの横のつながりを出来るだけ強化していく方向を大事にしていきたい。今後なんらか手を打てることを事業計画等でだしていければと思います。

2つ目に、児童館に関しては、唯一子供たちが、安心でき、様々な活動に取り組める居場所としては重要な場所であると思います。児童館に関しては充実を図っていく必要があると思います。

(事務局)

本日のご意見は次回に繋げていきたいと思います。

(金森部会長)

学童、児童館の場所や、開所の時間帯などの資料を、次回いただけないでしょうか。

(事務局)

そのようなものが伝わるような資料を、また改めてご提出したいと思います。

(金森部会長)

次回の会議予定はいつごろですか。

(事務局)

報告書が完成してから実施したいと考えています。改めてご連絡いたします。

(金森部会長)

ほかにご質問等ございますか。ではこれにて終了いたします。